

## 内規

(平成28年4月20日制定)

### 認知症施策検討委員会設置要綱(内規)

#### (設置)

第1条 認知症の状態に応じた適切なサービス体制の整備に向けた検討することを目的とし、高梁市地域包括支援センター運営協議会要綱(平成18年高梁市告示第85号。以下「要綱」という。)第6条の規定に基づく委員会として、認知症施策検討委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

#### (所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 認知症の理解のための環境づくりの検討
- (2) 認知症高齢者の早期発見・早期対応できる体制づくりの検討
- (3) 認知症高齢者支援の切れ目のない医療・介護の体制づくりの検討
- (4) 認知症高齢者の家族の支援方法
- (5) その他、必要な事項の検討

#### (組織)

第3条 第3条 委員会は、要綱に基づく高梁市地域包括支援センター運営協議会(以下「運営協議会」という。)の委員の所属する機関、団体の実務者及び運営協議会会長が必要と認める者(以下「委員会委員」という。)をもって構成する。

#### (任期)

第4条 委員会委員の任期は、運営協議会委員の任期に準ずる。

#### (委員長等)

第5条 委員会に委員長を置き、委員会委員の互選によって定める。

- 2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する委員会委員がその職務を代理する。

#### (会議)

第6条 委員会は、定期又は臨時的に開催する。

- 2 委員長は、委員会委員全員の出席を求める必要がないと認めるときは、一部の委員会

委員の出席を求めて委員会を開催することができる。

3 委員長は、必要に応じて委員会に委員会委員以外の関係者の出席を求め、その説明又は意見を聞くことができる。

(守秘義務)

第7条 委員会委員及び委員会に出席した者は、職務上知り得た個人情報を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(報酬等)

第8条 委員会委員が委員会に出席したときの報酬及び旅費は支給しないものとする。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、地域包括支援センターにおいて処理する。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成28年4月1日から適用する。

令和5年度認知症関連施策事業の実績

事業名	認知症サポーター養成事業
事業内容	・認知症キャラバン・メイトによる認知症サポーター養成講座の開催およびキャラバン・メイト活動の拡大
目標	・認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守る認知症サポーターを増やし、認知症の人と家族への支援の輪を広げる。
実績	・認知症サポーター養成講座 実績25回 【R4：28回】
	サポーター養成講座受講者数 実績434人（うち初回受講者：340人） 【R4：535人（うち初回受講者：394人）】 小学生 53人 中学生 9人 高校生 69人 大学生 32人 団体・企業 35人 地域 236人
評価	例年養成講座を開催している地域・ボランティア・学生に加えて、企業にも声かけを行い、商業施設内のスタッフや工場の従業員に対して実施した

事業名	認知症サポーター活動推進・地域づくり推進事業
事業内容	・地域における認知症高齢者とその家族への相談・支援の実施と、認知症の人への支援体制を構築し関係者間の連携強化を行う。  認知症地域支援推進員（地域包括支援センター内 7名） 専任1名（保健師）、兼務6名
実績	・新規に2名が認知症地域支援推進員研修を受講し、1名が現任者研修を受講した。 ・認知症の人、家族への個別支援➡ 34名 高梁（8）津川（2）川面（3）宇治（1）松原（1）中井（2） 落合（7）、有漢（4）、川上（5）、備中（1） ・9月の認知症月間に合わせて、認知症理解推進キャンペーンを開催（幟の設置、パネル展示、街頭啓発、まちかど相談会の実施、行政放送番組の作成・放送、認知症を知るフェアの開催、普及啓発ポロシャツの作成・着用、マグネットステッカー、啓発ポスターの掲示、オレンジガーデニングプロジェクトの実施、一般向け認知症サポーター養成講座の開催） ・認知症サポーターステップアップ講座を3か所で開催（備中町布瀬地区・羽場サロン・認知症サポーター希望者） ・オレンジサポーターの登録 新規13名 ・新規で「チームオレンジ羽場」が結成された。 ・本人向け認知症ケアパスを市内関係機関に配付し、普及啓発を行った。
評価	・9月の認知症月間に合わせて認知症理解推進の取組を行った。今後も理解推進のためにこの取り組みは今後も継続が必要である。 ・新たに1か所でチームオレンジが立ち上がった。今後も認知症の人や家族が地域での生活が継続できるように各地でのチームオレンジの立ち上げ支援と活動支援が必要。

事業名	認知症高齢者見守り事業			
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みまもりネットワークの体制整備と高齢者位置情報サービスを利用する際の初期導入費の助成を行う。</li> </ul> <p>[みまもりネットワーク]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症等により徘徊等で行方不明となる心配のある高齢者の家族に、事前登録をしてもらい、日常の見守りと行方不明時の連絡体制、警察や消防等との情報共有を行い、早期発見へ繋げる</li> </ul> <p>[みまもりサポーター（大切なあなたを見守り隊）]</p> <p>みまもりメールに登録した団体及び企業</p> <p>[高齢者位置情報サービス費助成]</p> <p>高齢者位置情報サービスを利用する際の初期導入費の助成 助成額：10,000円（初期導入費用のみ、維持費は本人負担）</p> <p>※行方不明件数（市把握分）</p>			
		R 3	R 4	R 5
	行方不明事案	2件	4件	1件
	みまもりネットワーク活用	0件	0件	0件
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みまもりネットワーク登録者 25件【R4：31件】</li> <li>・みまもりサポーターの登録 39件【R4：39団体】</li> <li>・位置情報サービス初期導入費助成 0件【R4：0件】</li> </ul>			
評価	<p>新規に9名がみまもりネットワークに登録し、関係機関と情報共有・見守りを行った。みまもりサポーターの活用ができていないため、あり方について検討が必要である。今年度から位置情報サービスの初期導入費の助成について、対象者と対象機器の拡大を行ったが、利用には繋がっていない。</p>			

事業名	認知症初期集中支援推進事業		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症初期集中支援チームを設置し、認知症の診断を受けていない方や、介護サービスの利用に結びついていない方等で、認知症と思われる対象者を医療や介護へ繋ぎ、自立した生活を支援する。</li> <li>・認知症初期集中支援チーム員 サポート医 3名 保健師 3名（うち1名、令和5年度研修受講） 社会福祉士 2名（うち1名 令和5年度研修受講） 介護福祉士 1名 計 6名</li> <li>・チーム数：1</li> </ul>		
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規初期集中支援チーム員の養成 2名</li> <li>・初期集中支援チーム員会議の定例開催（初） 8月、11月、2月 事例検討、情報交換を行い、連携を深めた。</li> <li>・初期集中支援チーム稼働：3件</li> </ul>		
評価	<p>初期集中支援チーム員会議を定例で開催したことで、情報を共有することができ、連携が円滑にできた。そのことにより、対応ケースも3件となり、介護サービスにつなぐことができ、本人や家族の生活を支えることができた。</p>		

事業名	認知症ケア向上推進事業							
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域密着型施設を始め、認知症対応可能な専門職やキャラバン・メイトがいる事業所、ボランティア団体等により認知症の人とその家族、地域の人が集う場（認知症カフェ）を運営する。</li> </ul>							
実績	認知症カフェ 継続9、新規1 計10カ所 延121回							
	利用者：1157人（認知症126人[R4：104人]、家族51人、一般980人、相談18件）							
			認知症の方	新規認知症	家族	新規家族	地域の方	相談件数
	1	カフェすずらん	15	4	6	2	79	3
	2	おしゃべり広場	4	2	1	1	111	0
	3	マスカットカフェ	7	2	4	1	128	0
	4	カフェ福ちゃん	4	2	1	1	23	1
	5	ふらっとカフェオレンジ	0	0	0	0	65	0
	6	なりわ茶屋	36	7	38	6	120	12
	7	なりわ茶屋in川北	14	2	0	0	87	0
	8	かわかみ茶坊	45	6	1	1	263	0
	9	カフェキク	1	1	0	0	59	1
10	サニー健幸ラウンジ	0	0	0	0	45	1	
	計	126	26	51	12	980	18	
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険サービスを利用しない認知症の人やその家族が安心して通える認知症カフェが必要。</li> <li>・令和6年1月、株式会社メディケート（サニードラッグ）がサニー健幸ラウンジ（会場：ポルカ天満屋ハピータウン1階高梁観光情報館）を新たにオープンした。</li> </ul>							

事業名	家族介護者交流事業（元気回復事業）						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要介護者または介護者が市内在住で要介護者（40歳以上）を在宅で介護している家族介護者を対象に介護支援や介護に関する知識を習得などを行う</li> </ul>						
実績	第1回 日時：令和5年8月30日（水）10：30～13：30 内容：福祉ネイル、参加者交流会、会食 参加者：7人						
	第2回 日時：令和6年2月27日（火）10：30～13：30 内容：ビューティタッチセラピー体験、参加者交流会、会食 参加者：6人						
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者は少数であったが、「自分ではできないことを体験してリフレッシュできた」、「参加者同士で話をして気持ちを共有することができた」などの意見があった。</li> <li>・昨年度までは感染症対策のため短時間での開催であったが、今年度は参加者で会食を行った。</li> <li>・家族介護者支援のため、引き続きリフレッシュや在宅介護支援ができるよう開催していく。参加人数が少ないため、広報活動の工夫が必要。</li> </ul>						

事業名	成年後見制度利用支援事業
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 要支援者の判断能力の低下による金銭管理の不安を軽減するため、成年後見制度の申立てにかかる諸費用、成年後見人等の報酬の全部または一部を支給し利用を支援する。</li> </ul>
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市長申立人数 1名 【R4：2名】</li> <li>・ 報酬助成決定者延べ件数 21件 【R4：16件】</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高梁市権利擁護センター（高梁市社会福祉協議会へ委託）と連携を図り、成年後見制度の利用促進を行った。</li> </ul>

事業名	権利擁護事業
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者に対する虐待への早期発見・対応、生活上の困難事例の対応など権利擁護等アドバイザー（弁護士、司法書士、社会福祉士）の助言、指導により問題解決を図る。 委託先：公益財団法人 リーガルエイド岡山 〔弁護士〕小野 寛之 〔司法書士〕崎山 晃史 〔社会福祉士〕加藤 貴之</li> <li>・ 被虐待高齢者の避難先の確保を円滑に行い権利擁護の促進を図る。</li> </ul>
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者虐待通報件数 0件 【R4 7件】</li> <li>権利擁護・虐待相談延数 88件 【R4 169件】</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ケアマネジャーや民生委員・主任児童委員に向けて虐待防止や早期発見・対応の周知を行った。</li> <li>・ 虐待防止定例会議の開催により、権利擁護等アドバイザーから定期的に専門的助言を受けることにより、虐待防止体制の強化を図った。</li> </ul>

## 5. 認知症施策検討委員会での協議

### 第1回 令和5年7月21日(金) 13:30~15:00

《議題》(1)認知症基本法について

(2)令和5年度認知症総合支援事業について

(3)9月認知症月間の啓発活動について(グループワーク)

⇒街頭啓発等での啓発グッズの内容、市民ホールでのイベント内容の検討を行った。

【啓発グッズ】 ・もらって嬉しいもの、日用品として活用できるものが良い。

・「認知症とともにTAKAHASHI」のロゴを入れる。等

【市民ホールでのイベント】

・場所を分かりやすく、入りやすい工夫をする。

・過去の行政放送の認知症特集やドキュメンタリー映画の放映をする。

・脳トレや認知症予防の体操等遊び感覚で体験できるようなコーナーを設けてはどうか。

(4)本人支援について

### 第2回 令和5年11月27日(月)13:30~15:30

《議題》(1)令和5年度の認知症総合支援事業の進捗状況について

グループワーク「認知症理解啓発活動についての評価」

⇒人が集まる場所で啓発活動を実施することで様々な世代に知ってもらいきっかけになった。

医療機関や認知症カフェがない地域で相談会を行ってはどうか。

今年度の啓発グッズのように来てくれた方が何かもらえるとよいのではないか。

公式LINE等を活用した広報、出入口等目に付く場所での展示の検討が必要。

(2)本人支援について(グループワーク)

・今後の様々な場所で本人の声を継続的に聞き、その声を発信していく場が必要。

その声の続きもあるはずだが十分に聞くことが出来ていない。時間も手間も必要だが

取り組んでいく必要がある。

(4)認知症初期集中支援チーム活動報告について

### 第3回 令和6年2月15日(木)13:30~

《議題》(1)令和5年度の事業実績及び評価について

(2)グループワーク①「認知症月間等で活用する横断幕のデザインについて」

グループワーク②「認知症ケアパスの活用方法について」

・ケアパスを手に取った人がどう感じたかフィードバックできれば良い。

・金融機関や自動車学校等高齢者がよく行く所へ置いてはどうか。市のSNSで発信し、ヤングケアラー等にも見てもらえるような工夫を行う必要がある。

## 令和6年度認知症施策検討委員会

項目	内容
事業 目標	①認知症の人の早期発見と早期支援、本人のニーズ把握、医療・介護連携による切れ目のない支援体制（認知症初期集中支援チーム）の強化 ②認知症の正しい知識の普及啓発 ③認知症サポーターを中心とした本人・家族のニーズと支援をつなぐチームオレンジの活動支援
目指す 成果	① 支援が必要な認知症の人を早期に把握し支援に繋げることができる。 本人の気持ちや意見を聞き、ニーズ把握ができる。 ② 市民が認知症について知る機会ができ、正しい知識を持つことができる。 ③ 認知症の人への見守りの目や支援者が増えて、本人やその家族が安心して生活できる。
令和6年度 取り 組み	① 認知症地域支援推進員、認知症初期集中支援チームを中心とした本人・家族支援 ② 9月の認知症月間を中心とした認知症理解啓発活動、認知症ケアパスの活用、認知症サポーター養成講座の積極的開催 ③ 地域におけるチームオレンジの立ち上げ支援と活動支援
年間 予定	①認知症施策検討委員会（年3回）：7月、11月、2月 ②認知症初期集中支援チーム員連絡会議の開催（年3回） ③認知症月間を中心とした認知症理解啓発活動の実施 ④認知症サポーターステップアップ講座の開催、チームオレンジ・オレンジサポーターのフォローアップ研修の開催と活動支援 ⑤認知症カフェ連絡会、キャラバンメイト連絡会、家族介護者交流事業の開催 ⑥認知症声かけ体験の実施 ⑦本人ミーティングの開催

# 令和6年度 認知症総合支援事業について



## 令和6年度認知症総合支援事業計画

月	内容	年間実施
4月	認知症サポーターステップアップ講座（有漢畦地） 「チームオレンジ畦地」立ち上げ	85歳以上高齢者の実態把握・認知症地域支援推進員による 個別支援・認知症初期集中支援チーム派遣
6月	本人ミーティング：6月19日(水)	
7月	家族介護者のつどい：7月19日(金) 認知症カフェ連絡会：7月29日(月)	
8月	広報8月号、民生委員会にて「認知症月間キャンペーン」について広報	
9月	アルツハイマー月間：認知症理解推進キャンペーン 認知症サポーター養成講座（一般市民向け）9月20日(金)	
10月	民生委員会にて「高齢者虐待防止」協力依頼 認知症に関する展示(吉備国際大学) 認知症サポーター養成講座（市職員予定）⇒開催時期検討中	
11月	第2回認知症施策検討委員会：11月25日(月) 家族介護者のつどい：11月26日(火) 認知症高齢者声かけ訓練⇒開催時期検討中	
12月	認知症サポーターステップアップ講座①（希望者）	
1月	認知症カフェ連絡会：1月29日(水) 認知症サポーターステップアップ講座②（希望者）	
2月	民生委員会にて「高齢者のひとり歩きに声かけ」協力依頼 第3回認知症施策検討委員会：2月13日(木)	
3月	家族介護者のつどい：3月5日(水)	

# 今年度の重点目標

---

1. 認知症の人の早期発見と早期支援、本人のニーズ把握、医療・介護の連携による切れ目ない支援体制（認知症初期集中支援チーム）の強化
2. 認知症の正しい知識の普及啓発
3. 認知症サポーターを中心とした本人家族のニーズと支援をつなぐチームオレンジの活動支援

## 1. 認知症の人の早期発見と早期支援、本人のニーズ把握、医療・介護連携による切れ目のない支援体制（認知症初期集中支援チーム）の強化

---

【取組内容①】 **認知症地域支援推進員**を中心とした本人支援

**推進員**を地域包括支援センターへ5名配置

（専任1名（保健師）＋兼務4名（保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員）

今年度新たに2名（保健師）が認知症地域支援推進員研修を受講予定

⇒支援が必要な認知症の人を早期に把握し、支援に繋げる

**本人の気持ちや意見をしっかりと聴く（ニーズの把握）**

※**認知症地域支援推進員**とは

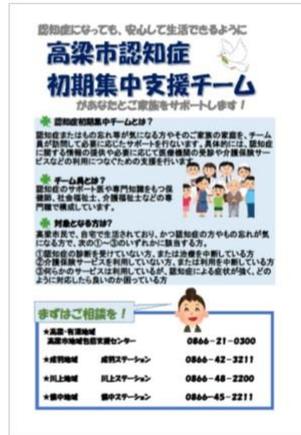
認知症の人の状態に応じて必要なサービスが適切に提供されるように、医療機関や介護サービス、地域の支援機関の間の連携支援や、認知症の人やその家族を対象とした相談業務などを行う者

# 1. 認知症の人の早期発見と早期支援、本人のニーズ把握、医療・介護連携による切れ目のない支援体制（認知症初期集中支援チーム）の強化

【取組内容②】 認知症初期集中支援チームを中心とした本人・家族支援

認知症サポート医 3名  
認知症初期集中支援チーム員（研修受講者）  
5名（医療職：2名、福祉職3名）  
今年度新たに2名受講予定（医療職1名、福祉職1名）

令和5年度 対応ケース 3件  
⇒相談があったときにタイムリーに支援できるように体制整備を行う  
認知症初期集中支援チーム員連絡会議を実施し、認知症サポート医との連携を図る。



チーム員連絡会議を開催し、サポート医との連携強化、情報共有を図る

## 2. 認知症の正しい知識の普及啓発

【取組内容①】 9 認知症月間を中心とした認知症の理解啓発活動

### 認知症理解推進キャンペーンの開催

のぼりの設置、パネル展示・まちかど相談会の実施、行政放送番組の制作と放送  
図書館・図書室での認知症を知るフェア、  
啓発ポスター・啓発ステッカーの掲示、  
オレンジガーデニングプロジェクトの実施  
一般向け認知症サポーター養成講座の開催 等

## 2. 認知症の正しい知識の普及啓発

---



【取組内容②】 認知症ケアパスの活用

### 【配付先】

医療機関（薬局含む）、居宅介護支援事業所、  
在宅介護支援センター、小規模多機能居宅介護、  
認知症カフェ、民生委員・主任児童委員、  
地域局・市民センター、第2層生活支援コーディネーター  
高梁警察署、市内金融機関、高梁自動車学校 など

⇒本人や家族早めに気づき、必要時に適切な支援を  
受けることができるように広報と活用を行う

## 2. 認知症の正しい知識の普及啓発

---

【取組内容③】 認知症サポーター養成講座の積極的開催

- 企業に向けての認知症サポーター養成講座受講勧奨  
ポルカ、イズミ職員向け認知症サポーター養成講座を開催  
市内金融機関、高梁警察署へ受講依頼予定
  
- 若年層に向けての認知症サポーター養成講座受講勧奨  
市内全小学校への開催依頼文とチラシの配付

### 3. 認知症サポーターを中心とした本人・家族のニーズと支援をつなぐチームオレンジの活動支援

【取組内容】 地域におけるチームオレンジの立ち上げ支援と活動支援



認知症サポーターステップアップ講座

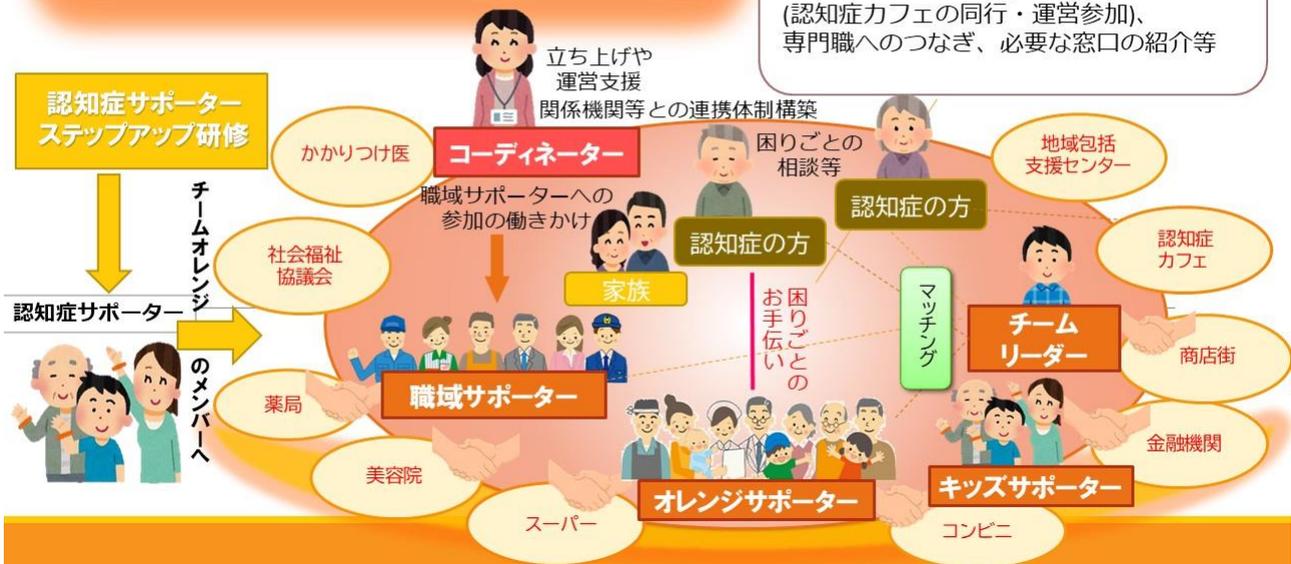
令和3～5年度 9回開催（布瀬地区、かわかみ茶坊・有漢地区 等）

サポーターの証

- 令和6年度：有漢畦地地区、成羽（体操グループ）、認知症サポーター希望者
- ⇒各地区で活動中のチームオレンジをオレンジコーディネーター、地域包括支援センター地区担当職員を中心として活動支援を行う
- ⇒チームオレンジ・オレンジサポーターのフォローアップ研修の開催

## チームオレンジたかはし

見守り・声かけ、話し相手、外出支援、ボランティア訪問等、孤立しないための関係づくり（認知症カフェの同行・運営参加）、専門職へのつなぎ、必要な窓口の紹介等



### 3. 認知症サポーターを中心とした本人家族のニーズと支援をつなぐチームオレンジの活動支援



「チーム布瀬のわ」

令和4年11月1日結成



「チームオレンジかわかみ」

令和5年3月3日結成

チームオレンジ羽場（有漢）  
令和5年7月12日結成



### 3. 認知症サポーターを中心とした本人家族のニーズと支援をつなぐチームオレンジの活動支援



チームオレンジ畦地（有漢）  
令和6年4月11日結成

⇒見守りの目や支援者が増えて、  
本人やその家族が安心して生活  
できる地域づくりを行っていく

今年度、チームオレンジ・オレンジ  
サポーターのフォローアップ研修を  
開催予定



# 本人ミーティング

---



## 本人ミーティングとは

---

認知症の本人が集い、本人同士が主になって、自らの体験や希望等を語り合い、自分たちのこれからのよりよい暮らし、暮らしやすい地域のあり方を一緒に話し合う場。「集って楽しい！」に加えて、本人だからこそその気づきや意見を本人同士で語り合い、それらを地域に伝えていくための集まり。

---

## 本人ミーティングのねらい

- ① 本人同士が出会い、つながる。
- ② 自らの体験・希望、必要としていることを率直に表す。
- ③ ひとりひとりが生きがいを持ってよりよく暮らしていくきっかけにする。
- ④ 本人が地域づくりに参画する。
- ⑤ 行政や関係者が本人の声を聴く。
- ⑥ 本人の体験や気持ちの理解を深める。



## 本人ミーティング 概要

日時：令和6年6月19日(水) 13:30～15:00

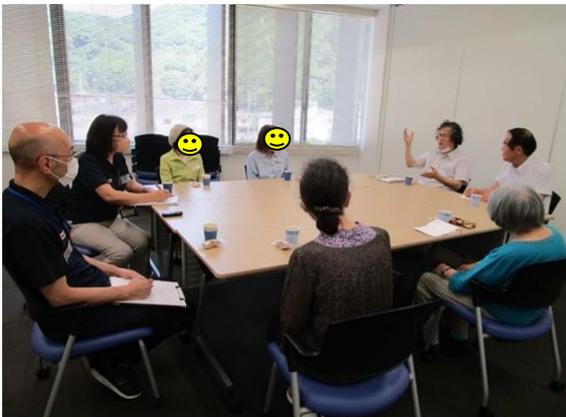
場所：市役所3階 会議室

参加者：本人 4名 家族 3名 支援者 3名

スタッフ：「認知症の人と家族の会岡山県支部」事務局 2名、本人 三宅氏 サポーター 三浦氏

地域包括支援センター職員 5名

内容：本人、家族が別々に日頃の思いを語り合う。



本人ミーティング



家族ミーティング

## 本人のことば（抜粋）①

(自分のこと)

- ・買い物に行く時、必ず何を買うか書いてないと1個何かを忘れる。
- ・まだ家に帰る道をまだ忘れてないくらいなんで、これ忘れると困るなあと思って。
- ・もの忘れがすごい。
- ・いろいろありました。85歳になるんです。本当一生懸命生きてきました。手に仕事があったんでここまで生きてこれた。
- ・自分の思うように体が動かないし、主人も時に怒るようにするから、それもショックで、思うようにできない私も辛いんです。

## 本人のことば（抜粋）②

---

（家族のこと）

- ・母に迷惑かけてばかり。年を取ったらこんなになるんじゃないかと思って。
- ・主人が怒ったりするからそれでストレスが溜まって頭がおかしくなって、自分自体その存在がわからないような状態なんです。
- ・娘が亡くなったから、ますます自分がどうしたらいいかわからないくらい悲しいんです。
- ・主人が一番の理解者であり、頼まんことには何にもならん状態なんです。

## 本人のことば（抜粋）③

---

（これからのこと）

- ・みんなを元気にしたい。
- ・話が聞けて、頑張らなきゃ。少しはね、ここがすっきりしました。
- ・先生がいろんな人と話をしなさいと言われるんです。  
必ず、ボケるから。テレビばかり1日観てるから、話をすることが一番いいって先生に言われた。
- ・ひとりで誰にも迷惑かけないように。仕事が有ったら仕事をしてます。
- ・くよくよしとったらなかなか立ち直れんところがあるんで、頑張って楽しくやらんとねと思うて生きとります。

## 家族のことば（抜粹）①

---

(本人のこと)

- ・ 困ることはいっぱいあります。でも、本人は忘れています。
- ・ 妻はアルツハイマー型認知症です。まだ、しっかりしている部分もあって助けられることもある。指示されるのを嫌う。
- ・ 今まではきちっとしていたんです。怒ればいい？褒めたらいい？時に怒る。つい、大きい声が出るんです。
- ・ 物をしまいすぎてわからなくなる。

## 家族のことば（抜粹）②

---

(自分のこと)

- ・ この年になって面倒をみるのは大変。特に台所が大変。
- ・ デイサービスに行ってくれれば、僕の自由になる。
- ・ 本人が手伝おうとしてくれるが、説明するのに時間がかかる。  
できるまで待つのは待つ。  
できないことを説明してできるようにすることは難しい。
- ・ ありがとうは努めて言うようにしている。言葉に出して言わないと伝わらない
- ・ 手はだしちゃいかん。
- ・ 腹が立ったら、ちょっとその場から離れるんです1時間くらいたつと本人は忘れて  
いるから。

## 家族のことば（抜粋）③

---

（地域とのかかわり）

- ・近所が離れているので、つい、大きな声が出る。
  - ・女房がおかしいと気が付いて医者にかかった。1年くらいは誰にも言わないようにしていました。でも、近所に迷惑をかけるようになって、それで町内へもこんな調子なんで、よろしく願いますいうたら、気持ちが楽になりました。ある面からすると恥ずかしいけど、大勢の人に知ってもらえとったらいい。
  - ・ケアマネにお互いの愚痴を言う。ケアマネが来てくれるのが楽しみ。
- 

# 令和6年度 9月認知症月間の取り組みについて

---



## 認知症理解推進キャンペーンの開催

---

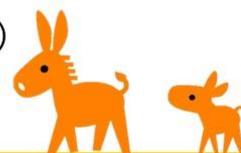
- ・ パネル展示、まちかど相談会、街頭啓発活動の実施
  - ・ のぼり設置
  - ・ オレンジガーデニングプロジェクトの実施
  - ・ 一般向け認知症サポーター養成講座の開催
  - ・ 図書館、図書室での認知症を知るフェア
  - ・ 啓発ポスター、啓発ステッカーの掲示
  - ・ 行政放送番組の放送 等
-

## パネル展示・まちかど相談会・街頭啓発

	パネル展示	まちかど相談会・街頭啓発
ポルカ	9月 2日(月)～ 9日	9月 4日(水)
イズミ	9月10日(火)～17日	9月10日(火)
高梁市図書館	9月17日(火)～24日	9月18日(水)※街頭啓発のみ
成羽病院	9月24日(火)～30日	9月26日(木)※相談会のみ

街頭啓発 10:00～11:00

相談会 10:00～12:00 (もの忘れ相談プログラム)



## オレンジガーデニングプロジェクト

### 【協力依頼先】

- ・認知症施策検討委員会委員
- ・キャラバン・メイト
- ・認知症サポーター
- ・認知症カフェ運営団体
- ・市内グループホーム
- ・チームオレンジ・オレンジサポーター
- ・地域包括支援センター運営協議会委員

➡パネル展示にて掲示予定



- 一般向け認知症サポーター養成講座  
日時：9月20日（金）14：00～15：30  
場所：高梁市図書館4階多目的室



- 認知症フェア  
高梁市図書館・各図書室で開催予定

- 行政放送での認知症月間特集の放送について調整中

- 吉備国際大学への認知症理解啓発コーナーの設置  
10月頃（予定）



## オレンジガーデニングプロジェクト



花が咲いたらQR  
コードから写真  
を送ってね



<https://logoform.jp/f/JAEKA>

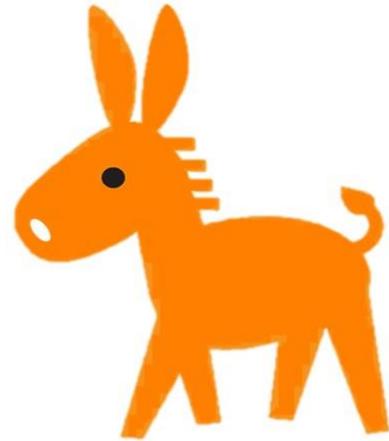
写真をお待ちしています

## 街頭啓発活動へのご協力をお願い

---

- ・ポルカ 9月4日(水)
  - ・イズミ 9月10日(火)
  - ・高梁市立図書館 9月18日(水)
- 時間：10:00～11:00

資料と一緒にお配りしている参加表にてお返事をお願いします



**無理のない範囲でご協力をお願いします**